

商品名 4枚フラップ書棚

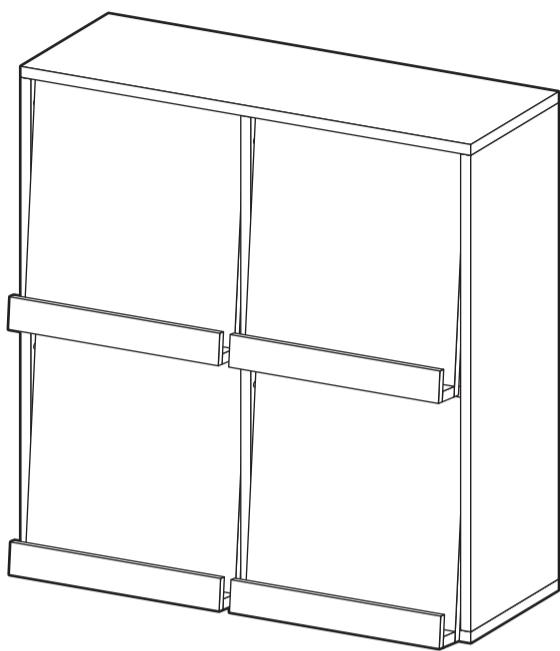
型番 LSD-06-0001

お買い上げ頂き誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用ください。

また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるように大切に保管してください。

この組立説明書には、製品を正確に組立て、末永くご愛用していただくための情報が記されております。本書の指示通りに組み立て、ご使用ください。

- この組立説明書はなくさないよう、保管しておいてください。
- 故障及びお問い合わせは、お買い求めになられました販売店までお申し付けください。
尚、天災などの不可抗力やお客様のお取り扱いの不注意、不当な修理、改修による故障・
破損等の保証はいたしかねますのでご了承ください。
- 本組立説明書を許可なく転載することは禁止しています。
- 本組立説明書の内容に関して、予告なしに訂正・変更することがあります。



組立説明書内で出てくるアイコンの説明

大型商品や大きい部材の組み立て等で、1人では組み立てにくかったり複数人をする作業工程です。	仮 締め ネジやボルトをきつく締めずに緩めに固定します。 (目安 8割程度)	本 締め ネジやボルトをしっかりと締め付けて固定します。

品質表示

外形寸法：幅80.0×奥行29.0×高さ82.5 (cm)

構造部材：プリント紙化粧繊維板

MADE IN MALAYSIA

部品

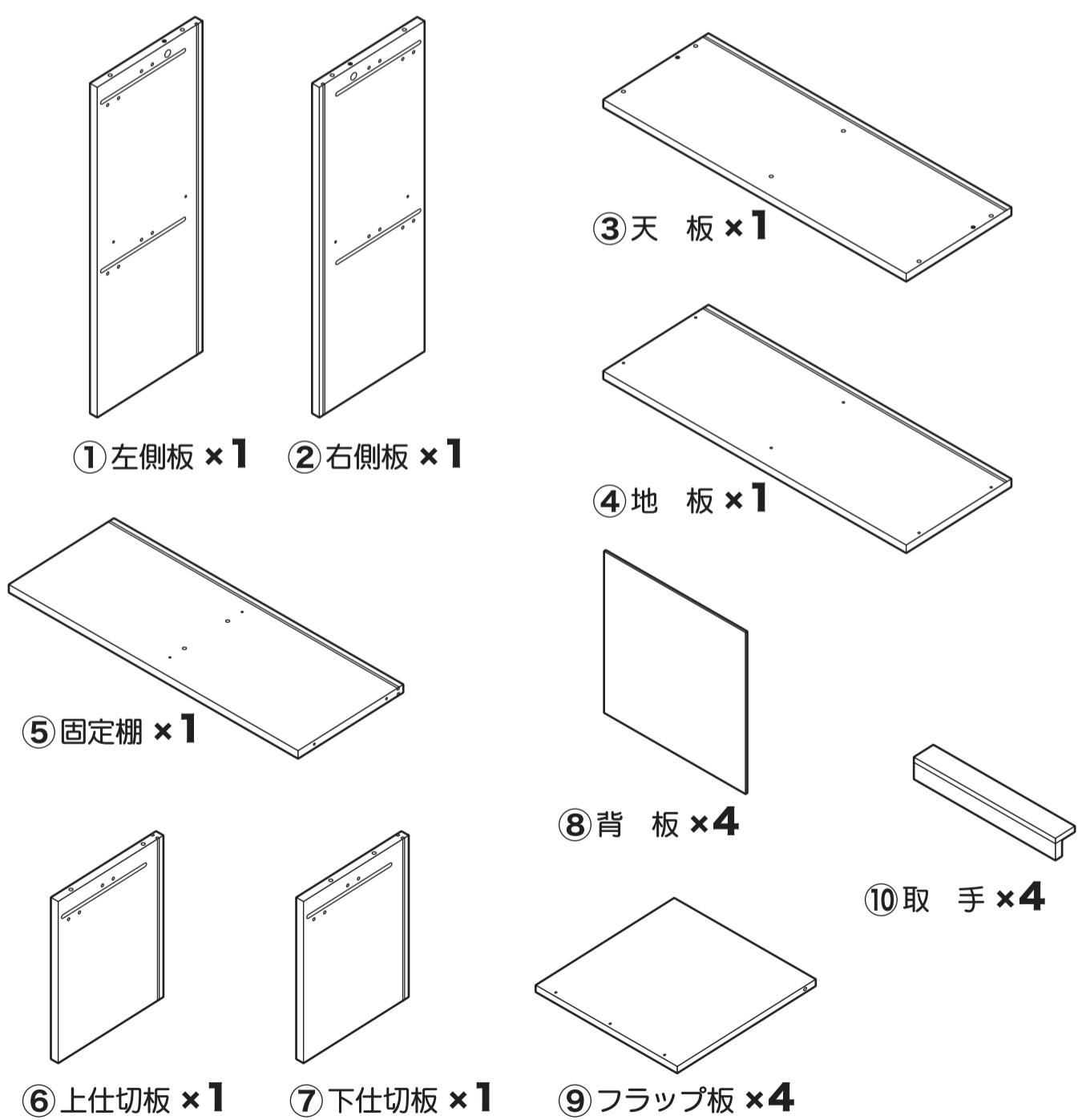
[必要な部品が揃っているかご確認ください。]

部材

[表裏・前後を間違いないよう、ご確認の上、組み立ててください。]

部品のかたち	部品の名前	数
A	木ダボ[小]	4
B	木ダボ[大]	6
C	木ダボ[長]	2
D	カムロックボルト	2
E	カムロックナット	2
F	接着剤	1
G	ストッパー	16
H	ストッパー用ネジ	16
I	フランプ用ピン	8
J	クッションシール	8
K	横流れ防止用具	8
L	横流れ防止用具用ネジ	8
M	フランプ用ネジ	12
N	本体用ネジ	12
O	接続金具	2
P	接続金具用ネジ	4
Q	ネジ隠しシール	20

ご注意	組立前にご準備ください
	 電動ドライバーは締め付けトルクを調節してご使用ください。強すぎると、部品や部材を破損する恐れがあります。



ボルトやその他の部品には類似しているものがあります。形状・数量をご確認の上、組み立ててください。間違った部品を使用しますと商品の破損の原因となったり、組み立てできない恐れがあります。

また、部品の形状や色等は生産の時期などにより異なる場合があります。



万一不都合な点がございましたら

お手元にこの説明書をご用意の上、お問合せください。

お問い合わせ

06-4705-1133

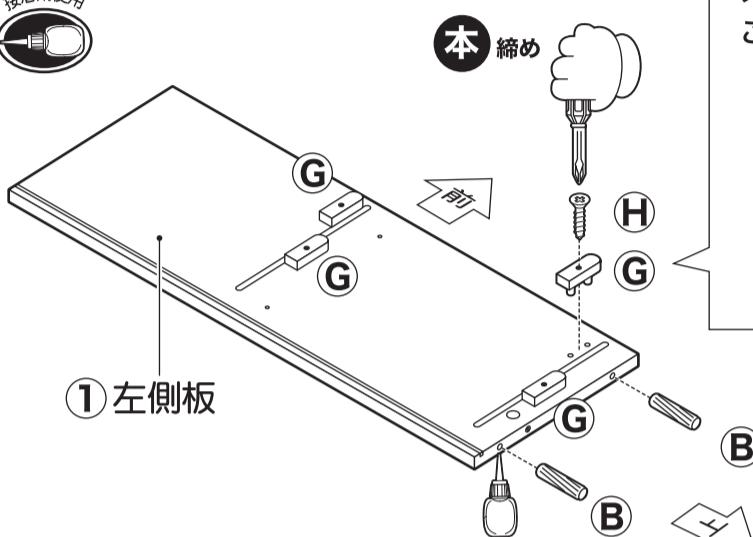
●受付時間／月曜日～金曜日 午前10:00～午後5:00

(土・日曜日・祝日はお休みさせていただきます。)

1 左側板に木ダボ[大]・ストッパーを取り付けてください。

(B)		木ダボ[大]	2
(G)		ストッパー	4
(H)		ストッパー用ネジ	4

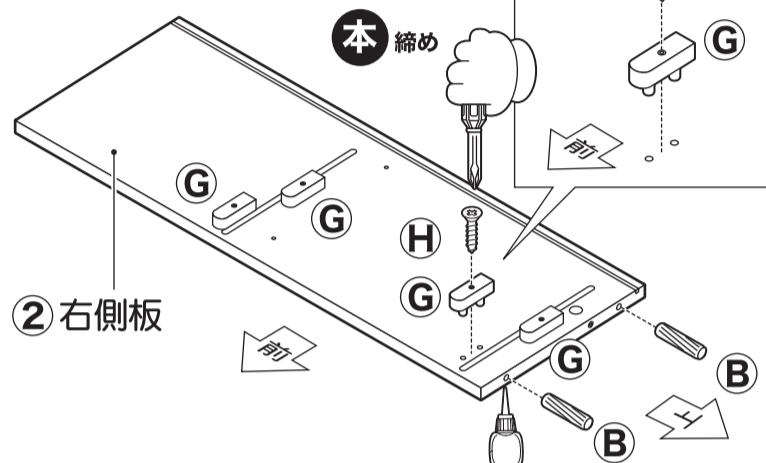
※木ダボの入る穴に接着剤を入れてください。



2 右側板に木ダボ[大]・ストッパーを取り付けてください。

(B)		木ダボ[大]	2
(G)		ストッパー	4
(H)		ストッパー用ネジ	4

※木ダボの入る穴に接着剤を入れてください。

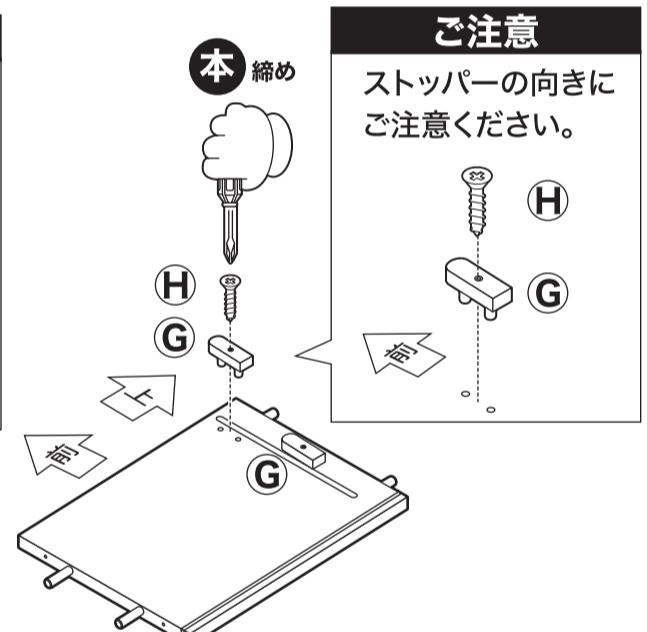
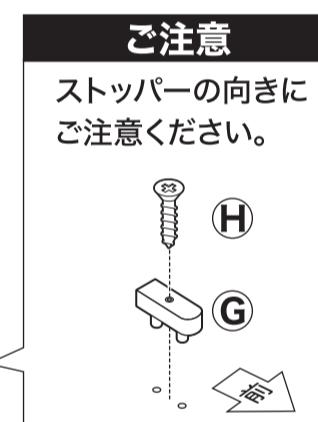


3 上仕切板に木ダボ[大]・木ダボ[長]・ストッパーを取り付けてください。

(B)		木ダボ[大]	2
(C)		木ダボ[長]	2
(G)		ストッパー	4
(H)		ストッパー用ネジ	4

※木ダボの入る穴に接着剤を入れてください。

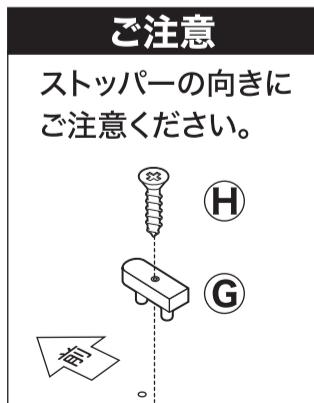
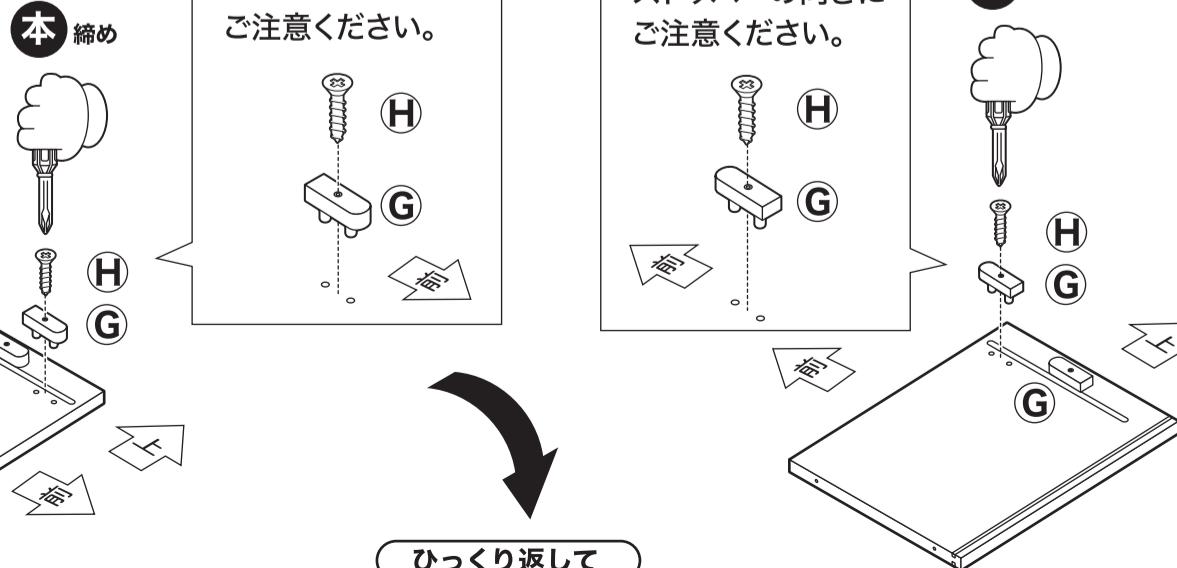
※木ダボの種類・取付穴にご注意ください。



ひっくり返して

4 下仕切板にストッパーを取り付けてください。

(G)		ストッパー	4
(H)		ストッパー用ネジ	4



ひっくり返して



LITEN StaD INC.

商品名 4枚フラップ書棚

型番 LSD-06-0001

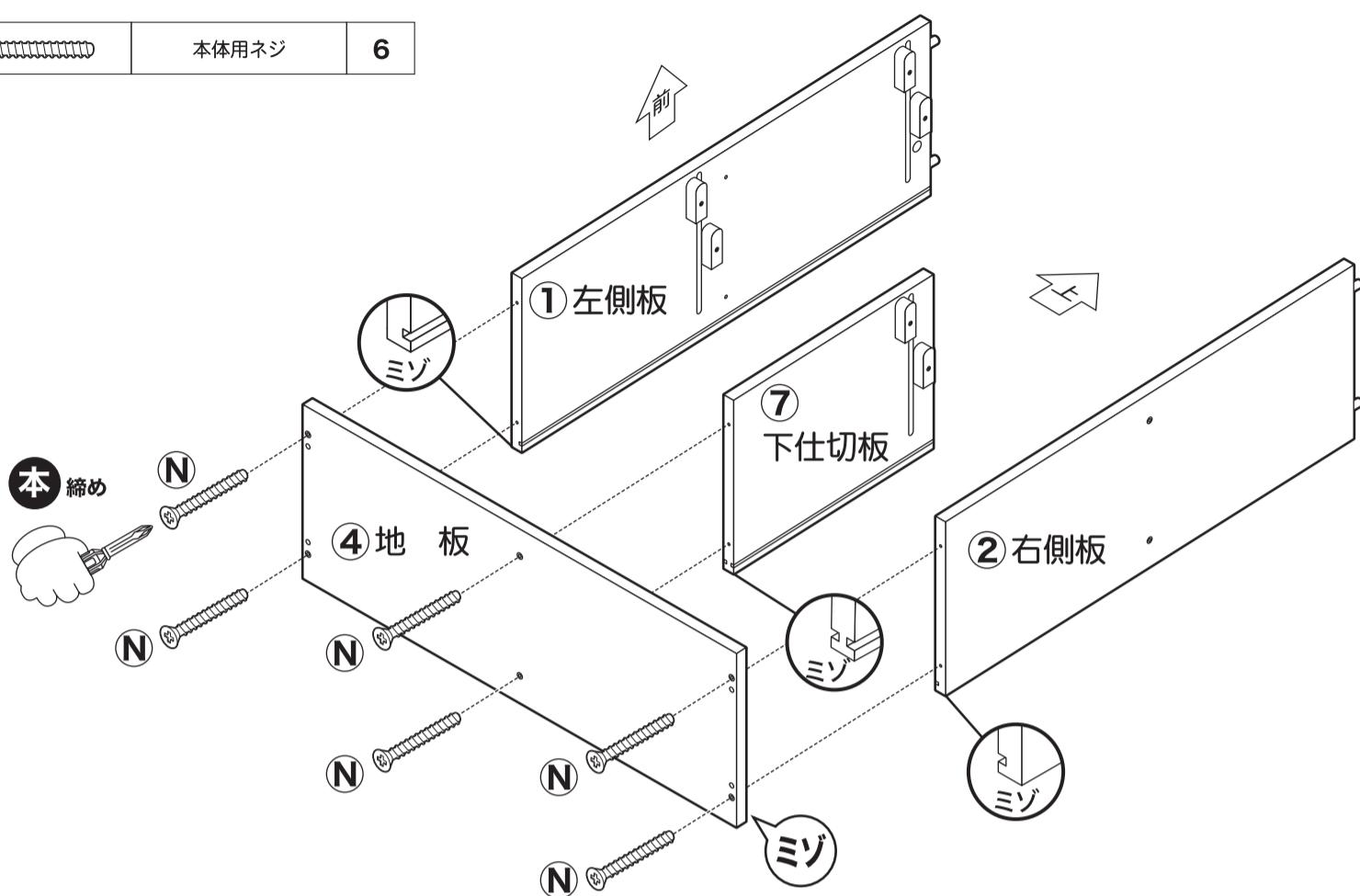
3 9

5

地板に左右側板・下仕切板を取り付けてください。



(N) (Screw) 本体用ネジ 6

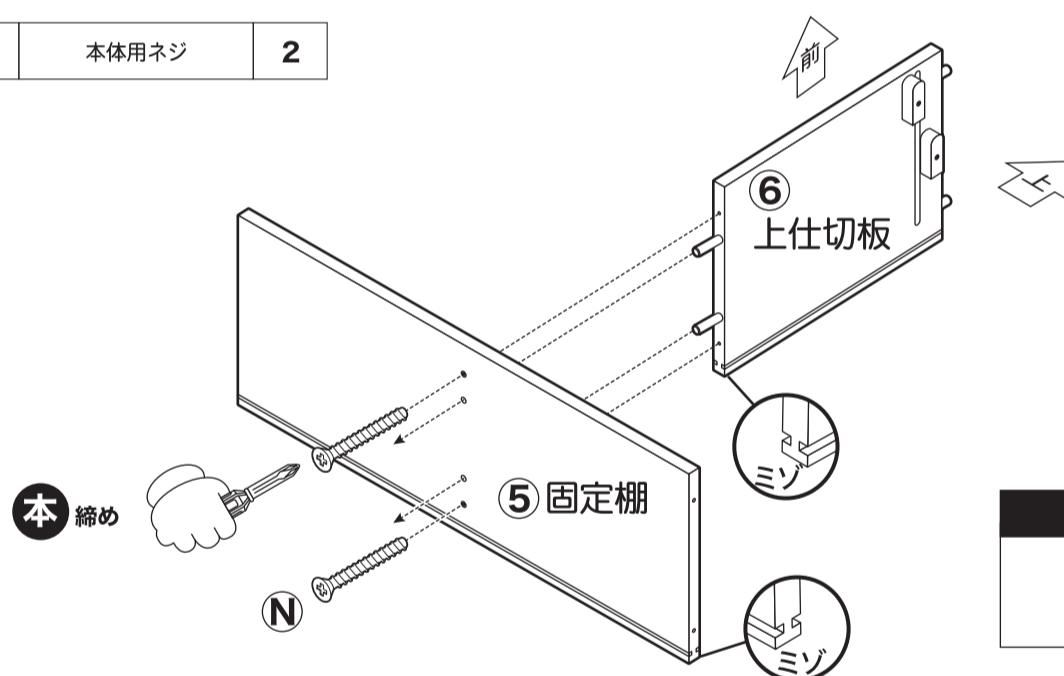


6

固定棚に上仕切板を取り付けてください。



(N) (Screw) 本体用ネジ 2

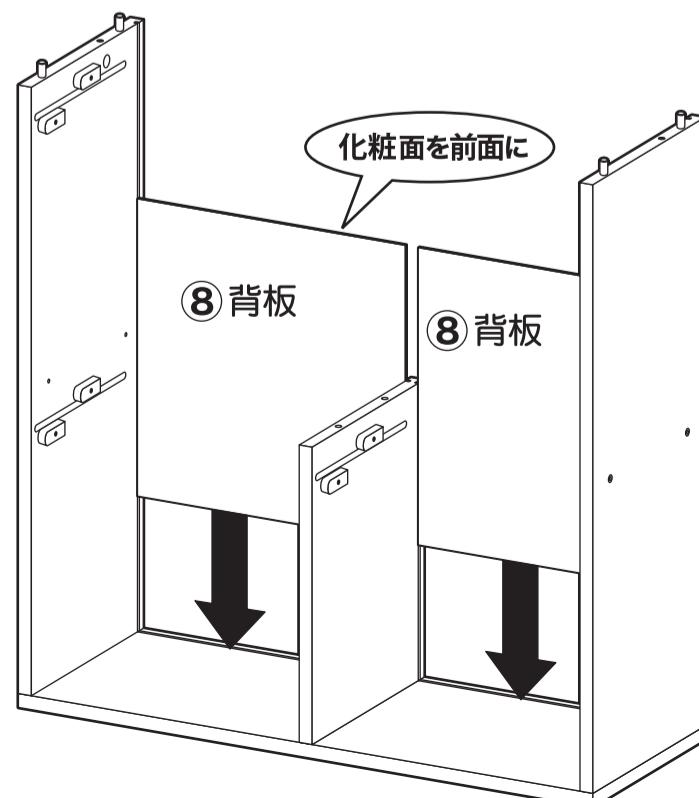


ポイント

上仕切板下側の「木ダボ[長]」は
固定棚に貫通させてください。

7

本体を起こし、背板×2を差し込んでください。



ご注意

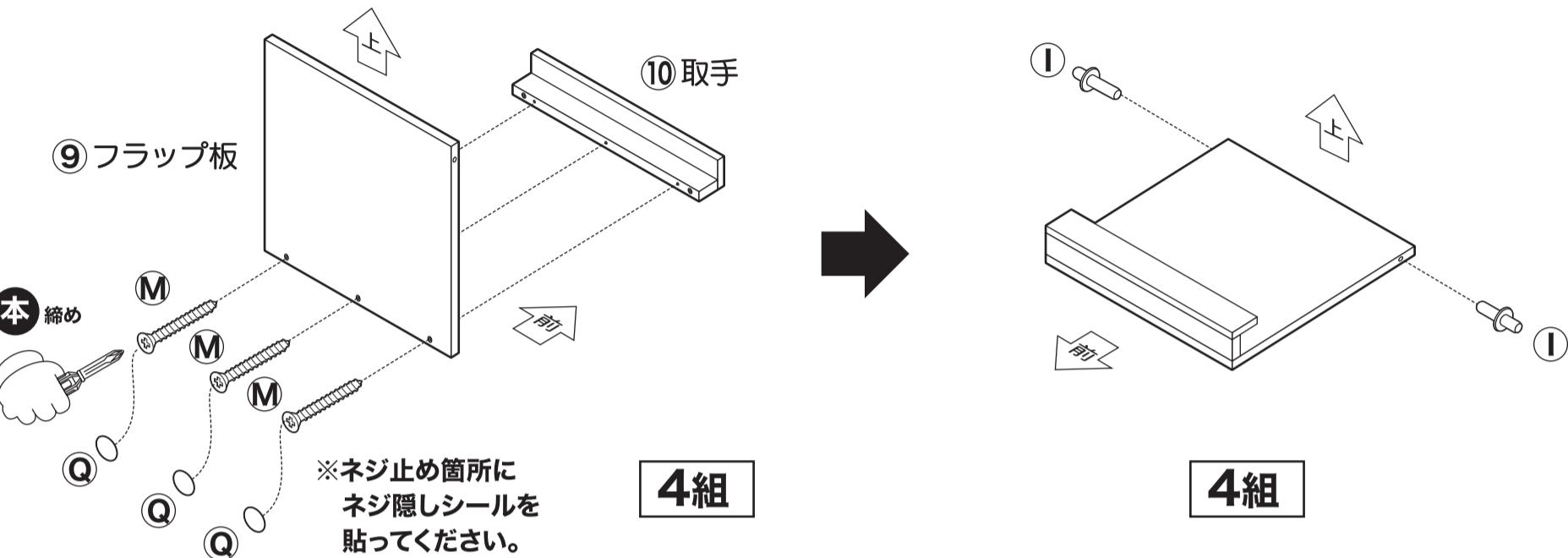
背板はミゾに沿ってしっかりと
差し込んでください。

8

フラップ扉を4組、組み立ててください。



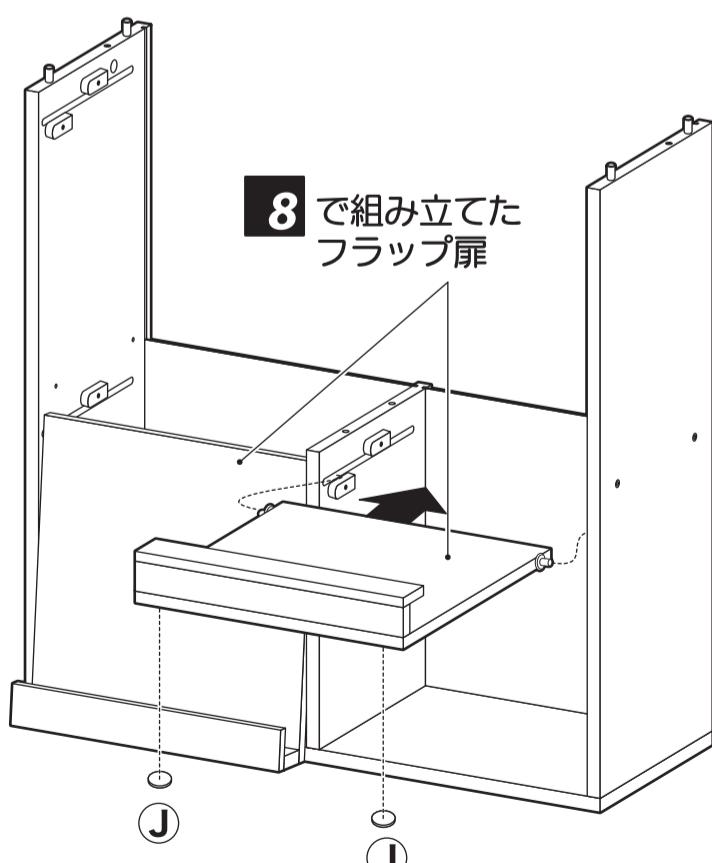
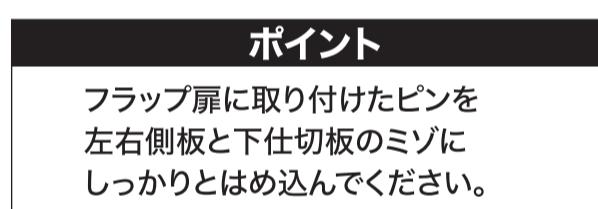
(I)		フラップ用ピン	8
(M)		フラップ用ネジ	12
(Q)		ネジ隠しシール	12



9

8で組み立てたフラップ扉×2を取り付けてください。

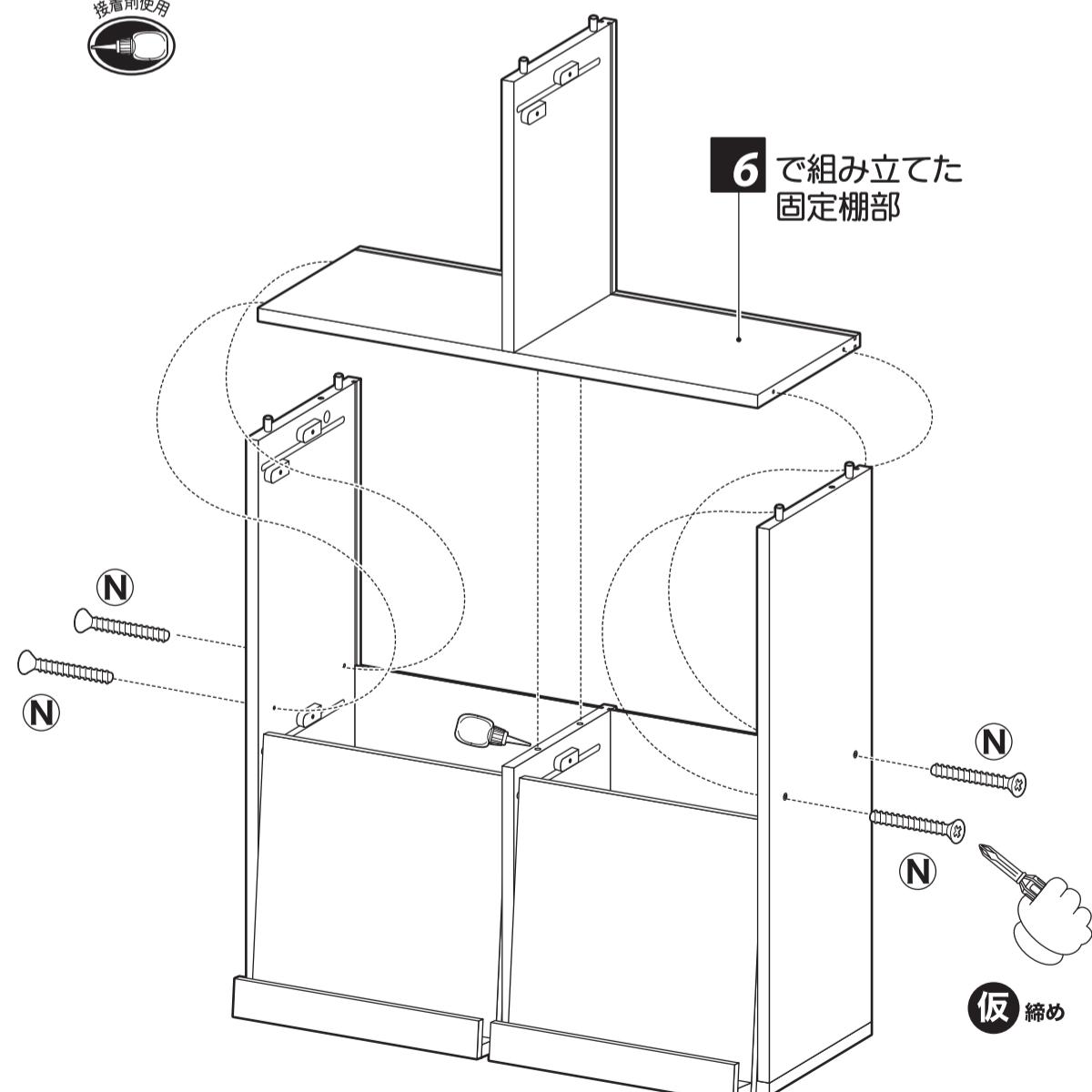
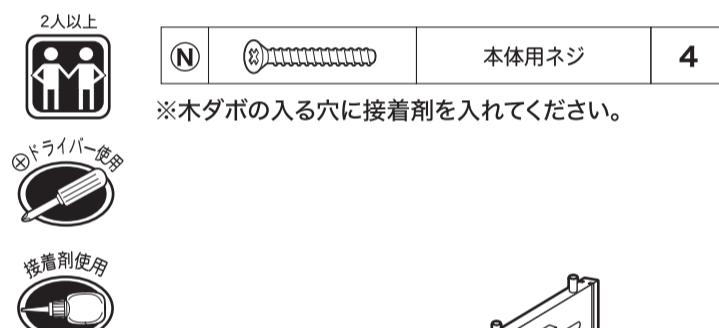
(J)		クッションシール	4
-----	--	----------	---



※フラップ扉の底面と本体が接触する箇所にクッションシールを貼ってください。

10

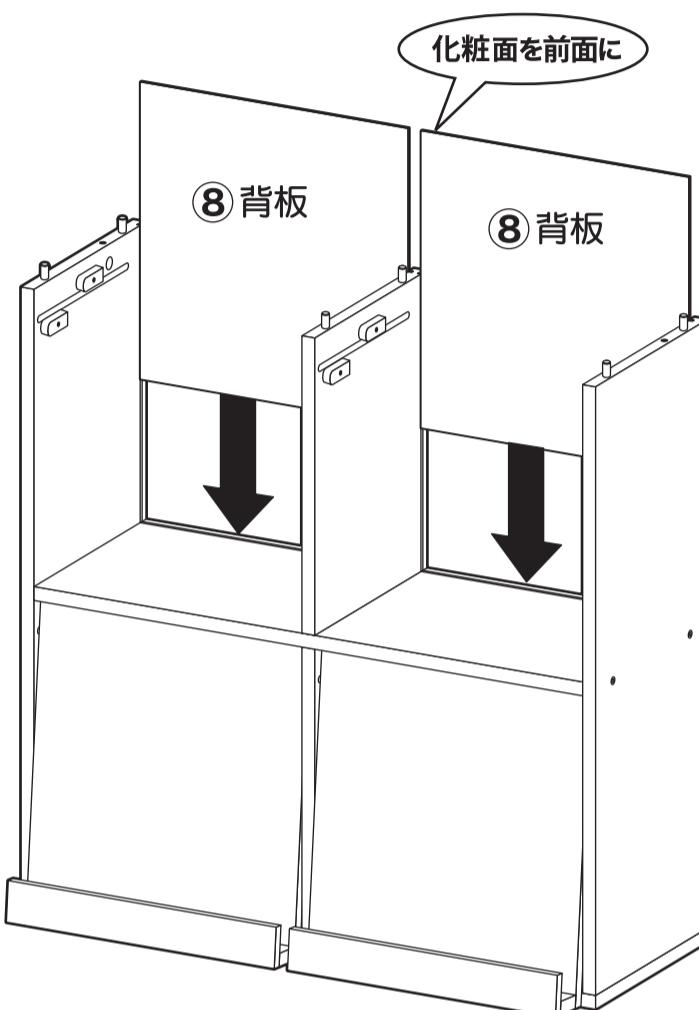
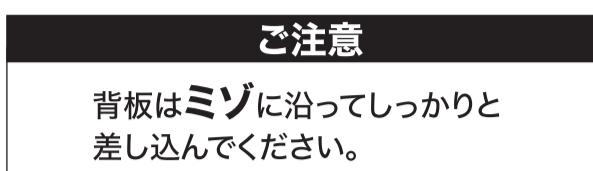
6で組み立てた固定棚部を取り付けください。



仮 締め

11

背板×2を差し込んでください。



12

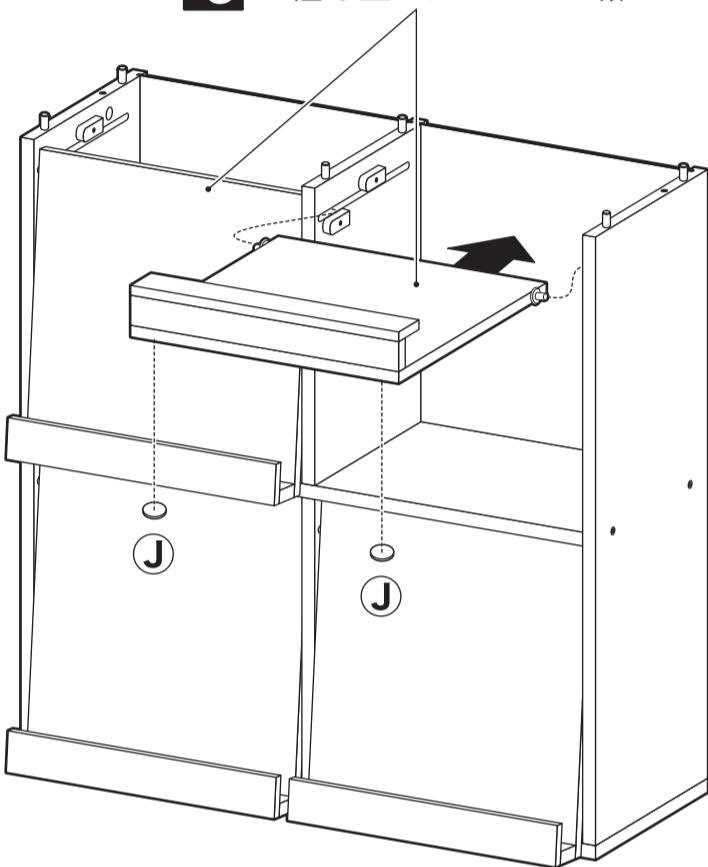
8で組み立てたフラップ扉×2を取り付けてください。

(J)	○	クッションシール	4
-----	---	----------	---

※フラップ扉の底面と本体が接触する箇所にクッションシールを貼ってください。

ポイント

フラップ扉に取り付けたピンを左右側板と上仕切板のミゾにしっかりとめ込んでください。

8 で組み立てたフラップ扉

13

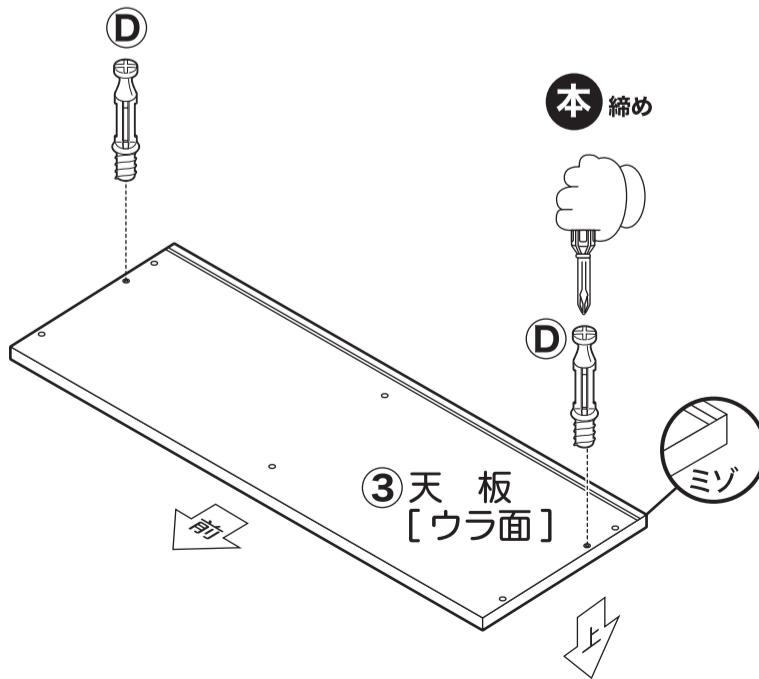
天板にカムロックボルトを取り付けてください。



(D)		カムロックボルト	2
-----	--	----------	---

ポイント

カムロックの取り付け方は別紙**8 9**の「カムロックの取り付け方」をご参照ください。



14

天板を取り付けてください。

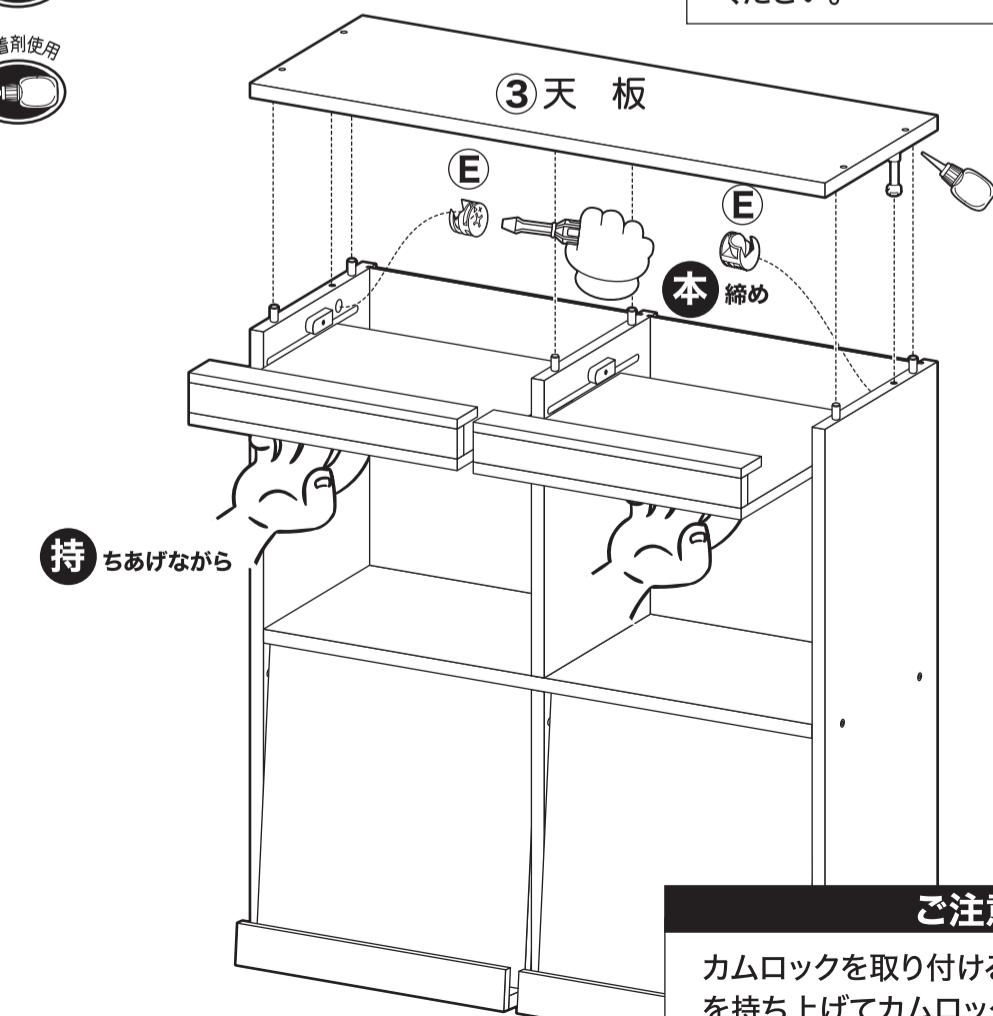


(E)		カムロックナット	2
-----	--	----------	---

※木ダボの入る穴に接着剤を入れてください。

ポイント

カムロックの取り付け方は別紙**8 9**の「カムロックの取り付け方」をご参照ください。

**ご注意**

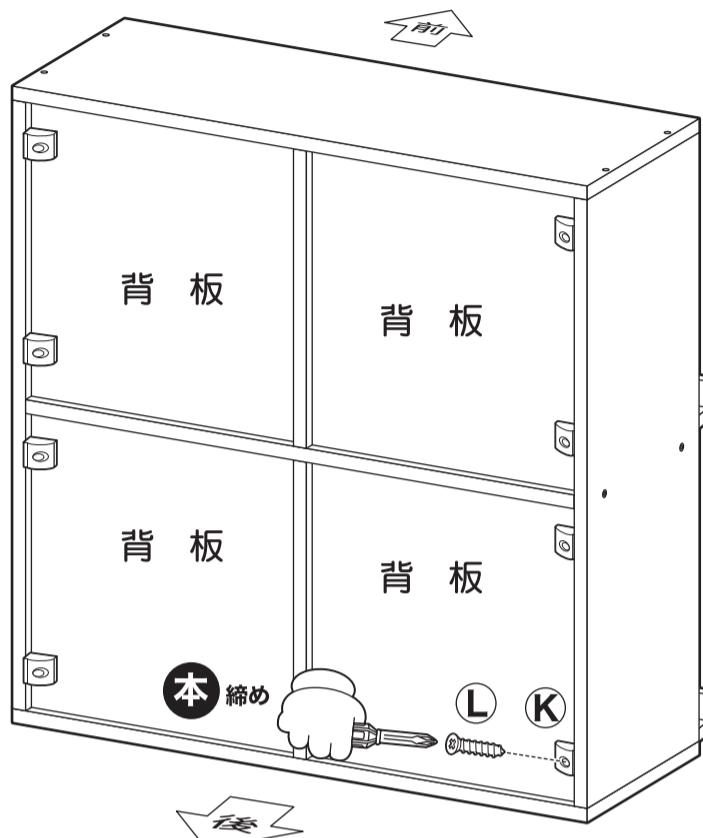
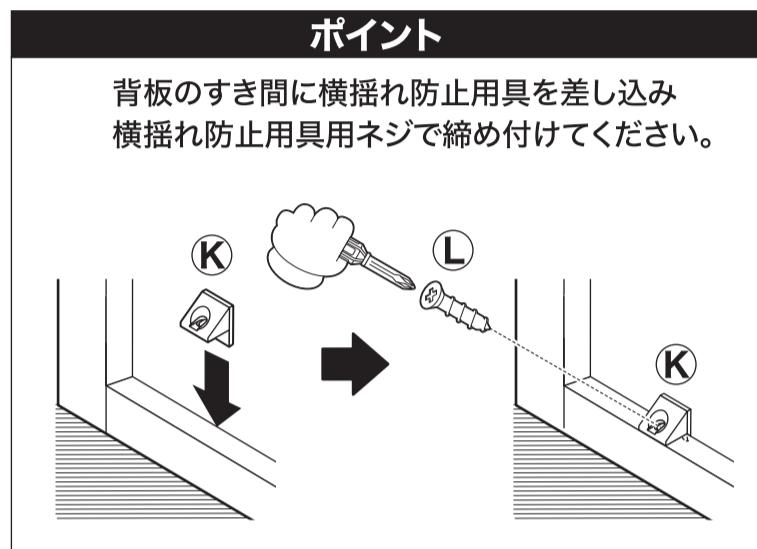
カムロックを取り付ける際は、フラップ扉を持ち上げてカムロックナットを締め付けてください。

15

本体背面に横揺れ防止用具を取り付けてください。



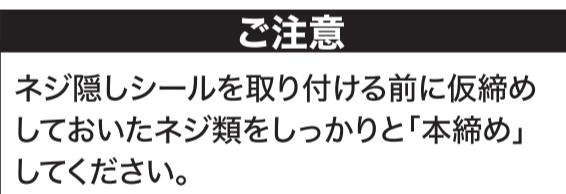
(K)		横揺れ防止用具	8
(L)		横揺れ防止用具用ネジ	8



16

ネジ止め箇所にネジ隠しシールを取り付けてください。

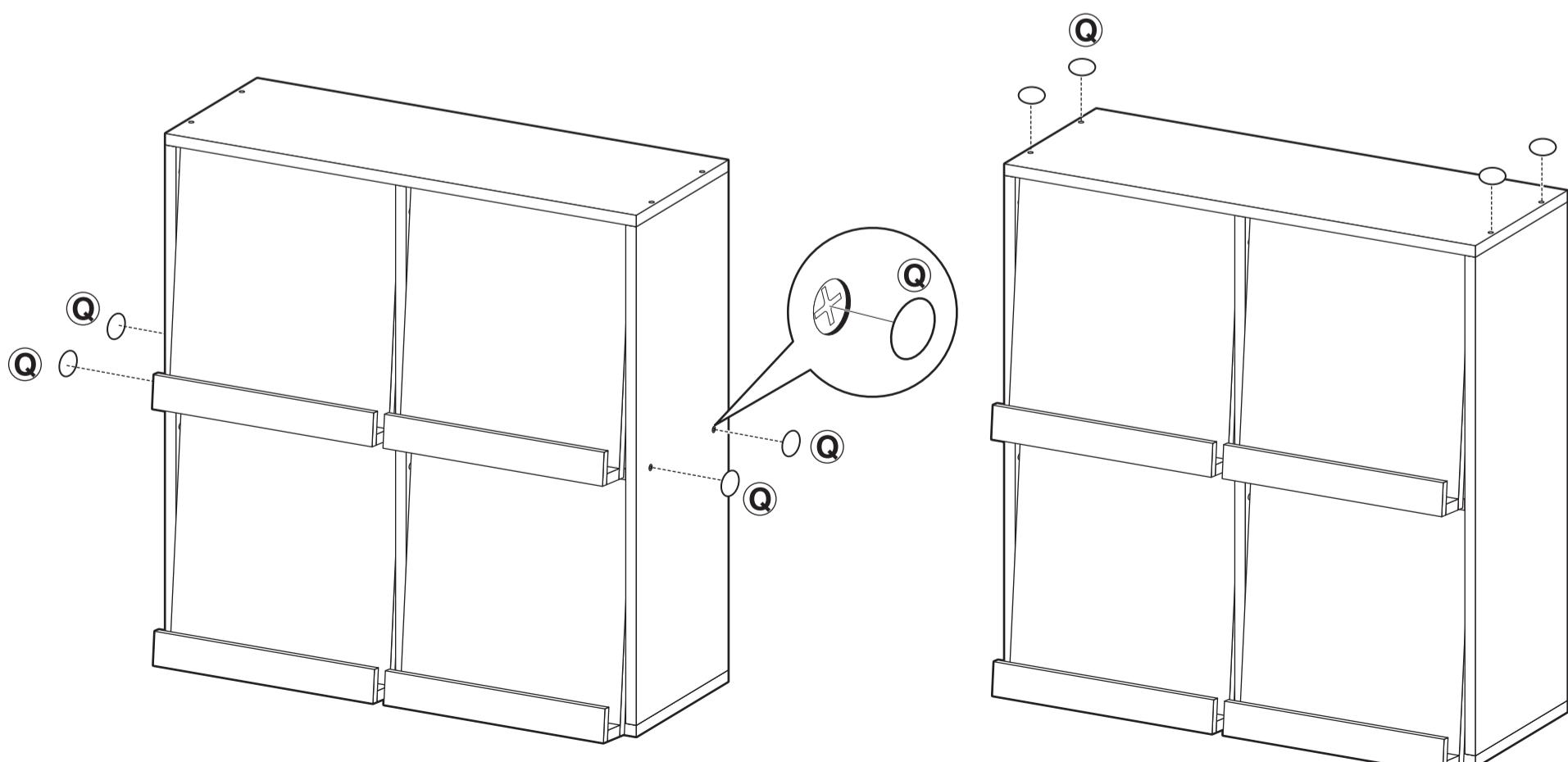
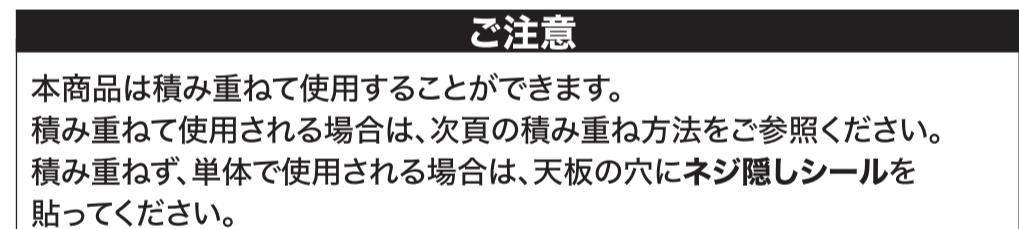
(Q)		ネジ隠しシール	4
-----	--	---------	---



17

完成です。

(Q)		ネジ隠しシール	4
-----	--	---------	---



18

【積み重ね方法】

木ダボ[小]を下置き用の天板の穴に差し込み、
上置き用を載せてください。



(A)		木ダボ[小]	4
-----	--	--------	---

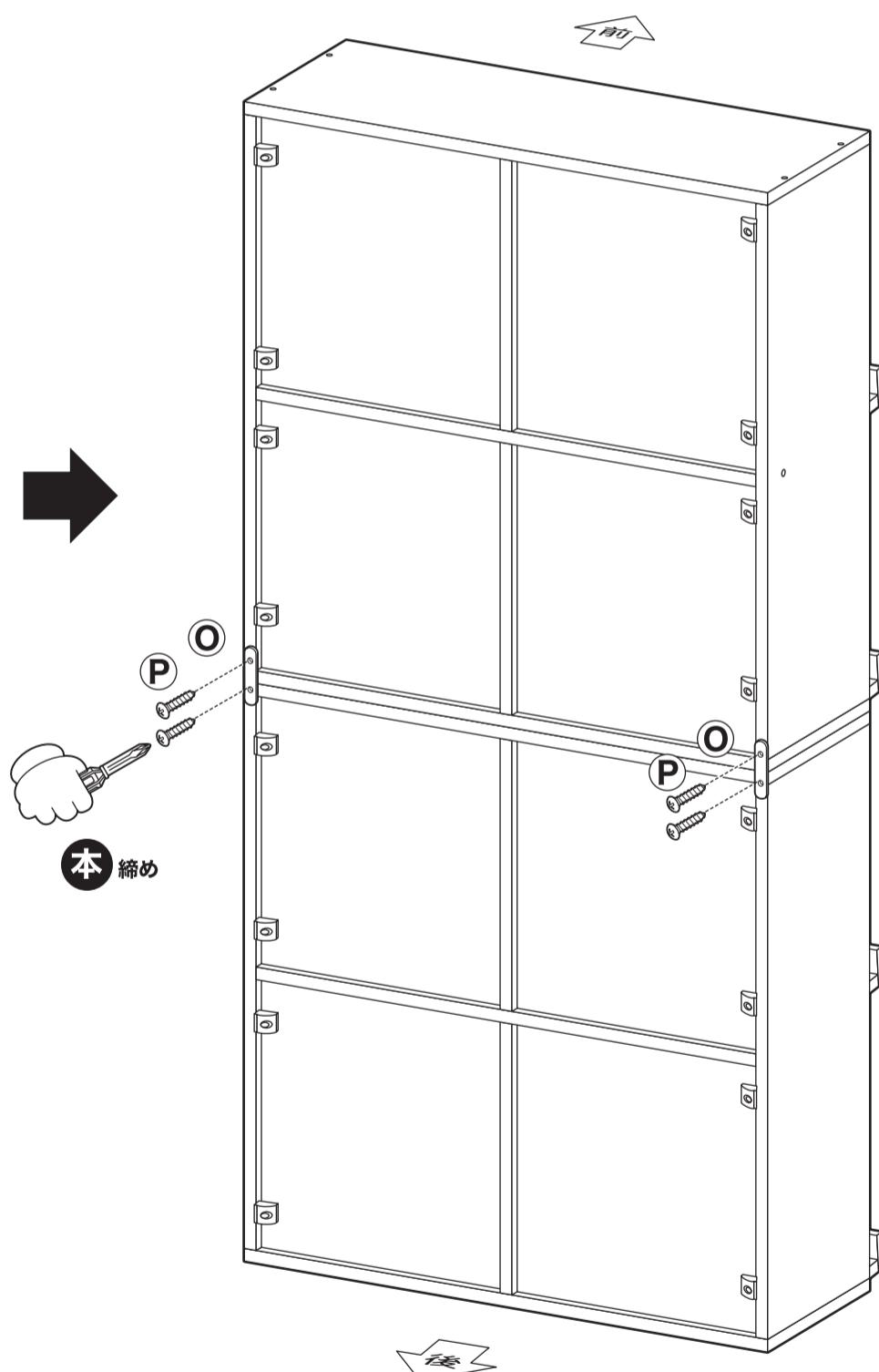
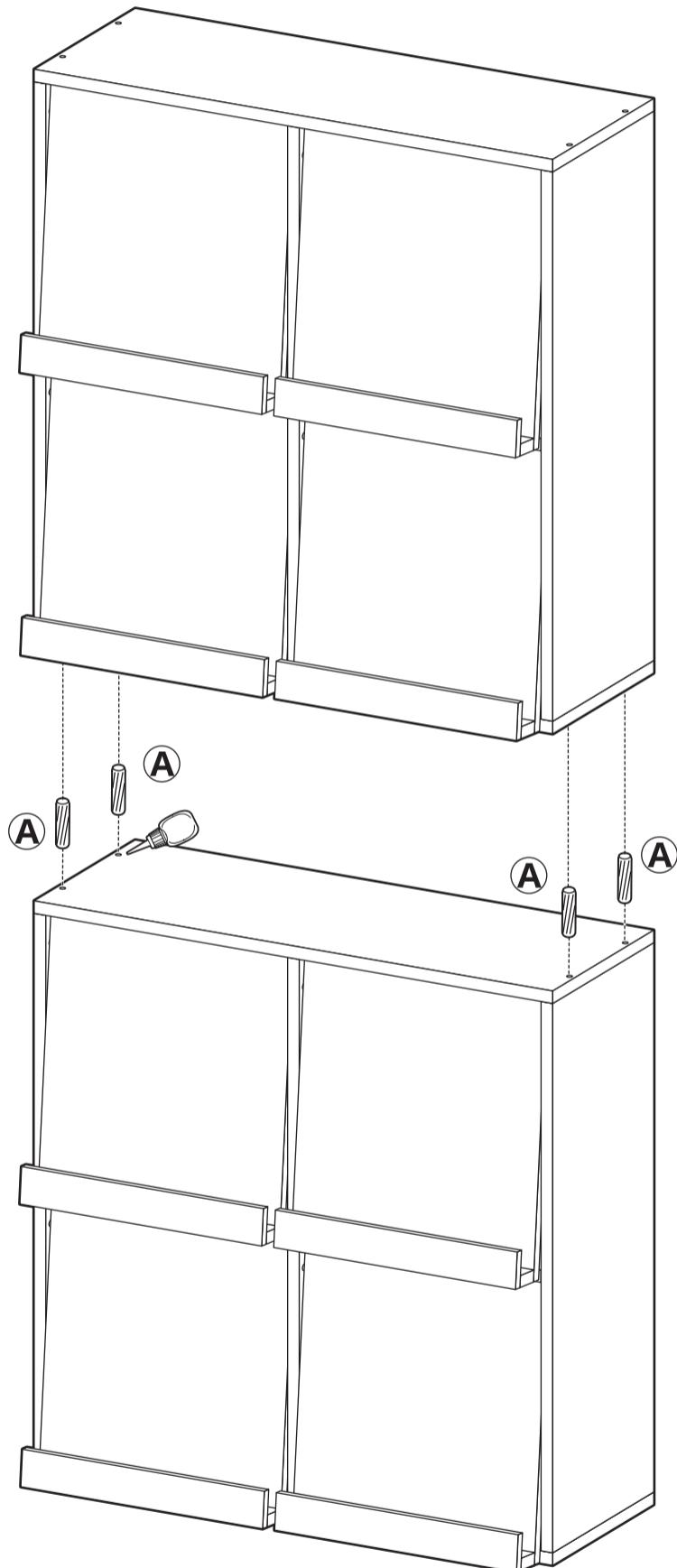
※木ダボの入る穴に接着剤を入れてください。

19

本体背面を接続金具で固定してください。



(O)		接続金具	2
(P)		接続金具用ネジ	4



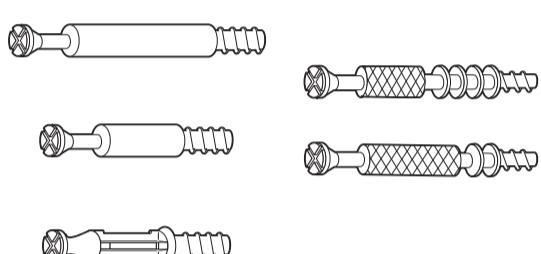
カムロックの取り付け方法

■ カムロックとは…

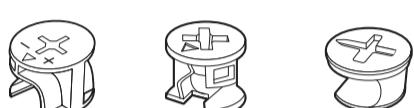
ボルトをナットに差し込み、ナットをドライバー等で締め付ける事によりお互いをかみ合わせ取り付ける方法です。

【カムロックの種類】

■ボルトの種類

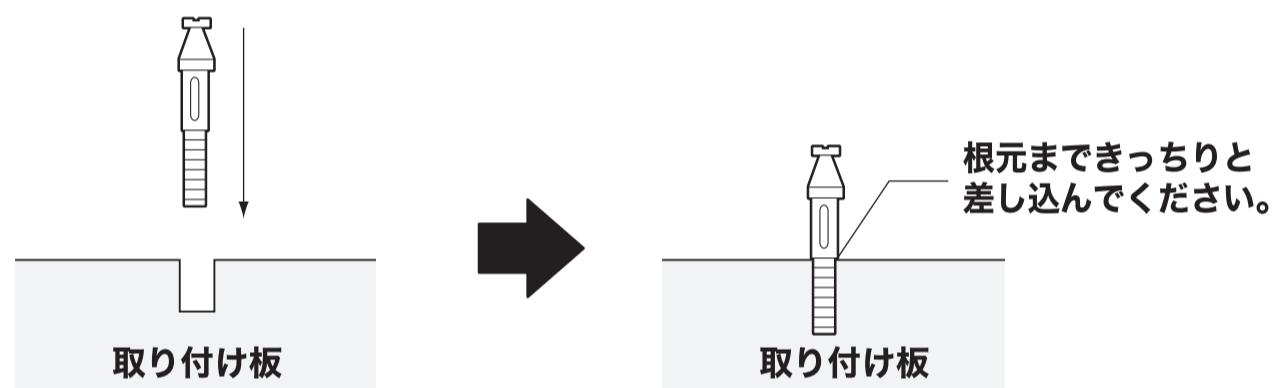


■ナットの種類

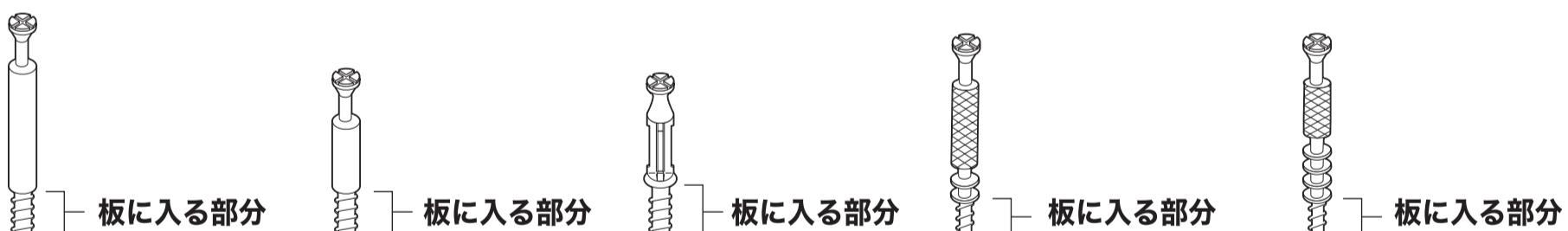


*同梱されているカムロックボルトやカムロックナットは生産時期や生産ロットによって形状が異なる場合があります。

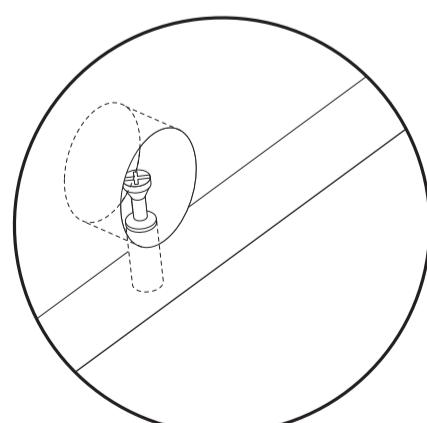
【カムロックボルトの差し込み】



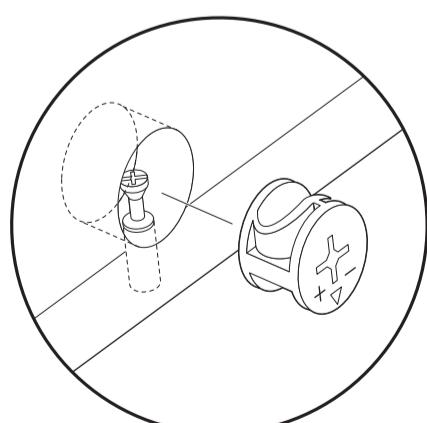
カムロックボルトは斜めに螺旋になっている部分が板に入ります。ドライバーでゆっくり回し、止まるところまで入れてください。強く締めすぎると、ネジ穴が広がりすぎたり破損する恐れがあります。



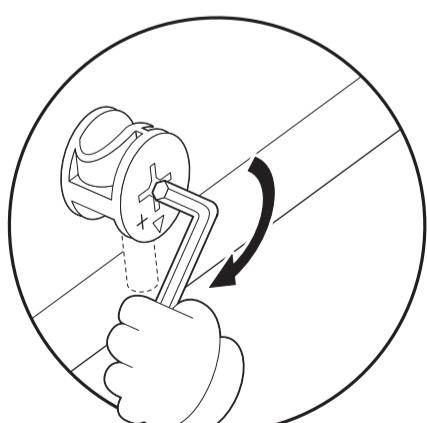
【カムロックナットのはめ込みと締め付け】



①カムロックボルトのネジ頭が
出ている事を確認してください。
ネジ頭が出ていない場合は調節
してください。



②カムロックナットの矢印あるいは凹
だ部分をカムロックボルトの頭に向
けて差し込んでください。



③六角レンチまたは、マイナスドライバー
で右回りに止まるまでしっかりと回して
ください。
(目安：120°～180°程度)



ご使用上に際してご注意

耐荷重量以上の物をのせないで下さい。 破損・転倒により、ケガや物を壊したりする原因になります。		天板の上にのつたり、イスの上で立ち上がったりしないで下さい。 破損・転倒により、ケガや物を壊したりする原因になります。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意下さい。	
引き出しが開けた状態で、耐荷重量以上の力を加えないで下さい。 破損・転倒により、ケガや物を壊したりする原因になります。		回転部や可動部のすき間に触れたり、手を入れたりしないで下さい。 挟まれてケガをする恐れがあります。	
ボルトや工具類等の小さな部品を、口に入れないようにして下さい。 特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意下さい。		改造・分解はしないで下さい。 強度が下がり、故障・破損・転倒によるケガや、中身が壊れる原因になります。	
直射日光の当たる場所や、水のかかる場所、ストーブ等冷暖房器具の近くや高温多湿な場所での使用・設置はご遠慮下さい。 火災・変形・変色・故障・事故の原因になります。		ボルトが緩んできた時は、再度組み立て手順に基づいて、締めなおして下さい。 これを怠りますと、破損・転倒により、ケガや物を壊したりする原因になります。	
商品を廃棄する時は、ご自分で焼却しないようにして下さい。地方自治体等の指示に従って下さい。 有害ガスを発生させる等、周囲に危険を及ぼす可能性があります。		コードを引っ張ったり、無理な曲げ方をしないで下さい。 断線して火災や感電の原因になります。	
電源コードを傷つけたり、破損・加工したりしないようにして下さい。 火災や感電の原因になります。		電源コードの上に重い物を絶対にのせないで下さい。 断線して火災や感電の原因になります。	
表示されている電源電圧以上の電圧で使用しないようにして下さい。 火災や感電の原因になります。		コンセント内に異物を入れないで下さい。 火災や感電の原因になります。埃・ゴミ・金属片・液体が入った場合は、電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いた後、取り除いて下さい。	

ご使用上に際しての警告

商品の移動や設置をする時は、手袋等を着用してから十分注意して行って下さい。 商品の角等でケガをする事があります。	商品に貼ってある表示シールは、絶対にはがさないで下さい。 誤った使い方や事故を防止するための物です。
商品は屋内用の物ですので、屋外での使用はおやめ下さい。 火災・変形・変色・故障・事故の原因になります。	天災等の不可抗力やお客様のお取り扱い上の故意・過失による故障・破損等は保証致しかねます。
商品の組み立て中や完成後に商品の臭いが気になる場合や気分が悪くなった時は、換気を十分に行い、臭いを取り除き、室内の空気を入れ替えて下さい。症状が治らない場合は速やかに医師による診断をお受け下さい。	安心して商品をお使いいただくために、定期点検をして下さい。 組み立てに使用しているボルトは、長期間の使用に際して緩む事があるため、定期的に締め付けて下さい。
キャスターの付いていない商品を移動させる時は、必ず二人以上で注意して行って下さい。 天板等のジョイント部分が破損する恐れがあります。	商品を引きずらないで下さい。 フローリング等の床面を傷つけたり、商品の破損、または、転倒の原因になります。
キャスター付の商品を移動させる場合は、段差のある所やじゅうたん等、柔らかい所は避けて下さい。 フローリング等の床面を傷つけたり、商品の破損、または、転倒の原因になります。	商品は平らな場所に水平になるように設置して下さい。また、天板や板の上には、不安定な物をのせないで下さい。 破損、転倒や落下によるケガの原因になります。
天板よりはみ出して、機器等を設置しないで下さい。 破損や転倒してケガをする恐れがあります。	天板や棚板に物をのせる時は、重量が一箇所に集中しないようにして下さい。 一箇所に重量が片寄ると収納物が落下する等の原因になり危険です。
加熱した鍋や、やかん等の熱い物や濡れた物を直接のせないようにして下さい。 変形や変色・事故の原因になります。	アンプを収納する場合は、アンプの上を20mm以上あけて下さい。 変形や変色、そりなどの原因になります。
ガラスを使用している商品は、ガラスを鋭利な物で傷つけたり、ぶつけたりしないようにして下さい。 破損しやすくなり、ケガをする恐れがあります。	引き出しは必要以上に勢いよく引き出さないで下さい。 引き出しが抜け落ちてケガをする恐れがあります。
ロック機能付の商品には貴重品を入れないで下さい。 簡易仕様のため、工具等で壊される恐れがあります。	キャスター付の商品は、過激な動きをさせないで下さい。 故障・破損・転倒やケガの原因になる事があります。
キャスター付の商品を、台車や運搬車代わりに使用するのはおやめ下さい。 故障・破損・転倒によるケガの原因になる事があります。	商品を移動させる場合は、設置された機器等を取り除いてから、注意して行うようにして下さい。 故障・破損・転倒やケガの原因になる事があります。